

サードパーティの会議に参加するためのMTRデバイスの設定

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[設定](#)

[デバイスの設定](#)

[リソースメールボックスの設定](#)

[\(「トラブルシューティング」\)](#)

概要

このドキュメントでは、サードパーティの会議に参加するようにCisco Microsoft Teams Room(MTR)デバイスを設定する方法について説明します。

前提条件

要件

MTRへのシスコエンドポイントのオンボーディングに関する知識。

Microsoft PowerShellの知識

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- Cisco Codec Pro 9月版の安定バージョン。MTRデバイスとしてMicrosoft Teamsに完全にオンボーディング（またはWebex Control Hubにデュアル登録）。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

背景説明

シスコデバイスがMTRモードで設定されている場合、デフォルトで参加オプションが表示されるのはMicrosoft Teamsの会議だけです。WebexまたはZoom会議の参加ボタンを表示するには、これを実現するために必要な追加の手順がいくつかあります。これらの手順を実行しないと、参加オプションを使用せずに会議情報を表示したり、会議の詳細をまったく表示しないことがあります。

設定

エンドポイントにサードパーティの会議を表示するには、デバイスとリソースメールボックスの両方の設定が必要です。

デバイスの設定

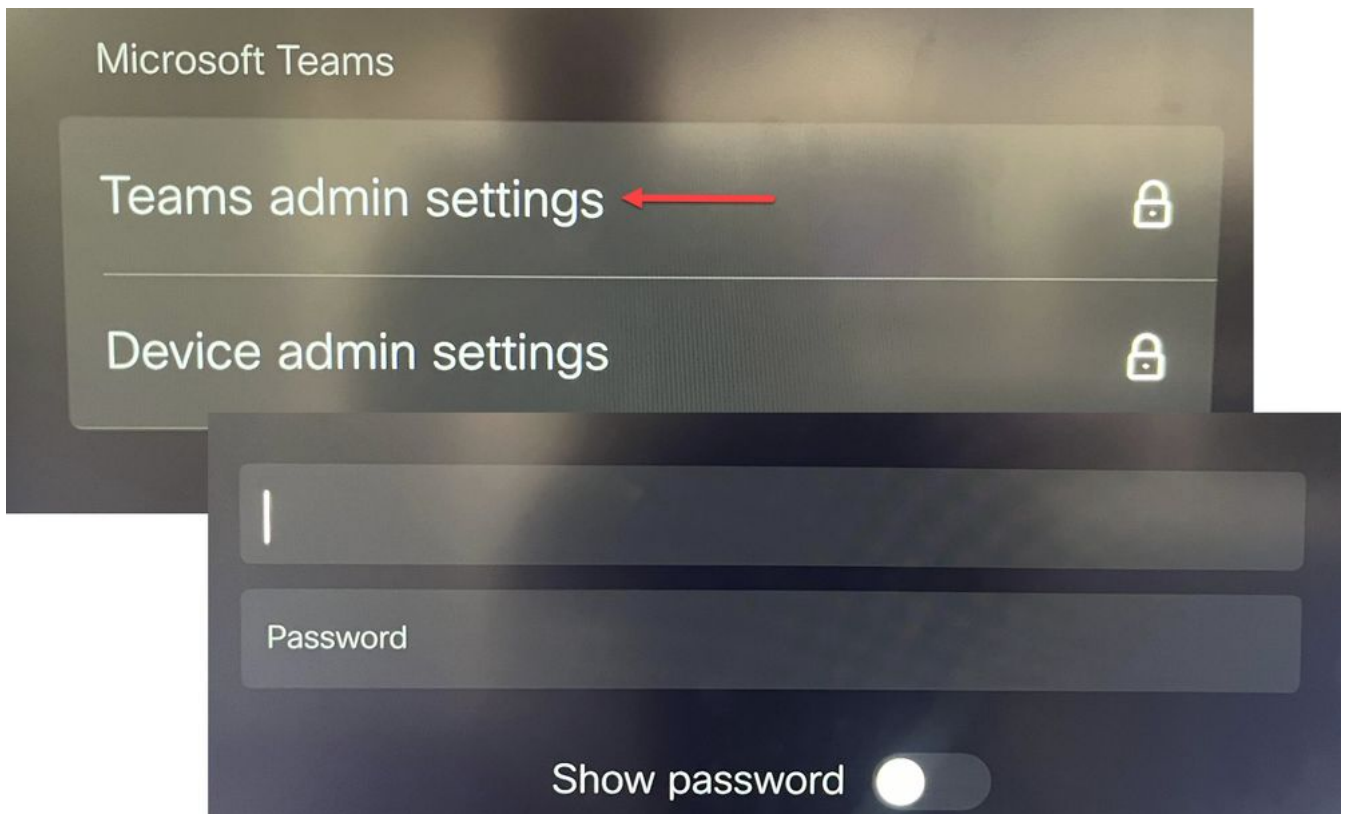
次の点を考慮してください。

- 1.リソースアカウントがサードパーティの会議への招待を処理できるようにする。
- 2.サードパーティの会議 (WebexおよびZoom) への参加をデバイスで有効にする。

ポイント2では、MTRエクスペリエンスを実行しているデバイスに設定があり、WebexおよびZoomミーティングの参加ボタンを表示するには、オンに切り替える必要があります。これは、デバイスのメインホーム画面の[詳細]ボタンの後にあります。

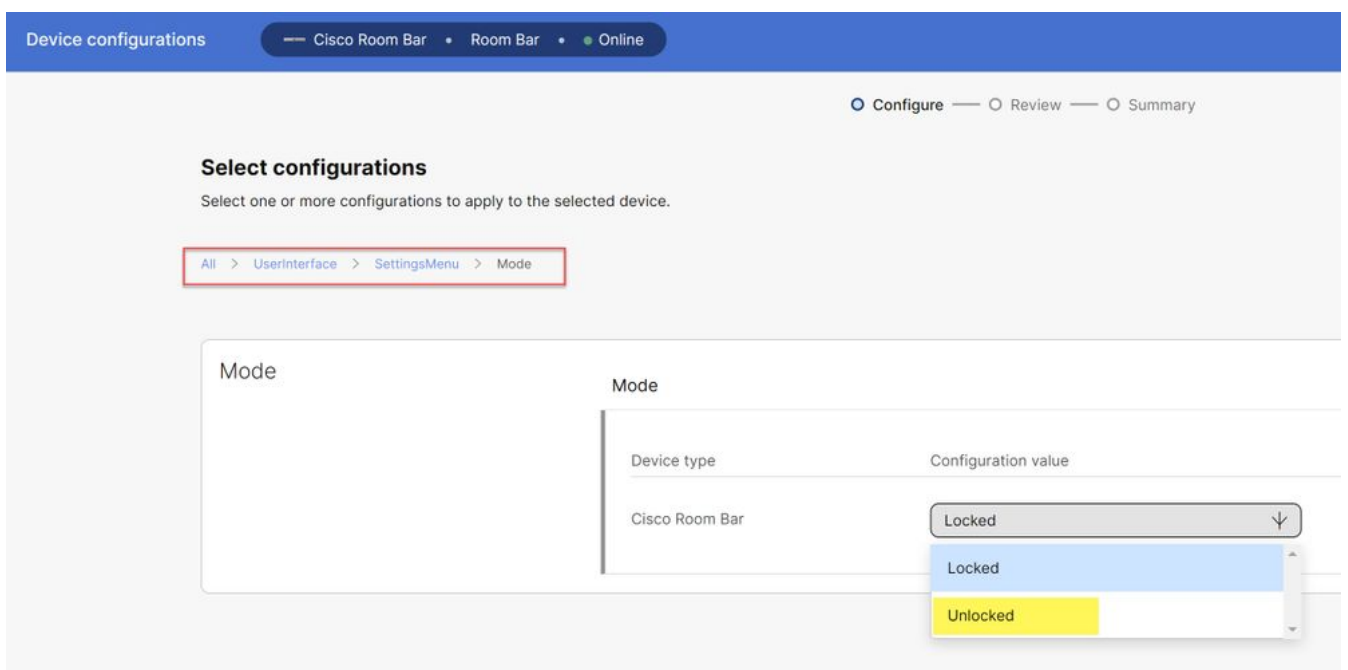
デフォルトでは、MTR設定はロックされているため、最初にロックを解除する必要があります。MTRモードの場合のみ、パスワードはセットアップ中に管理者によって作成されます。デバイスがデュアル登録されている場合 (TeamsおよびWebex Control Hub)、Control Hubから設定メニューのロックを解除できます。

MTRのみ：



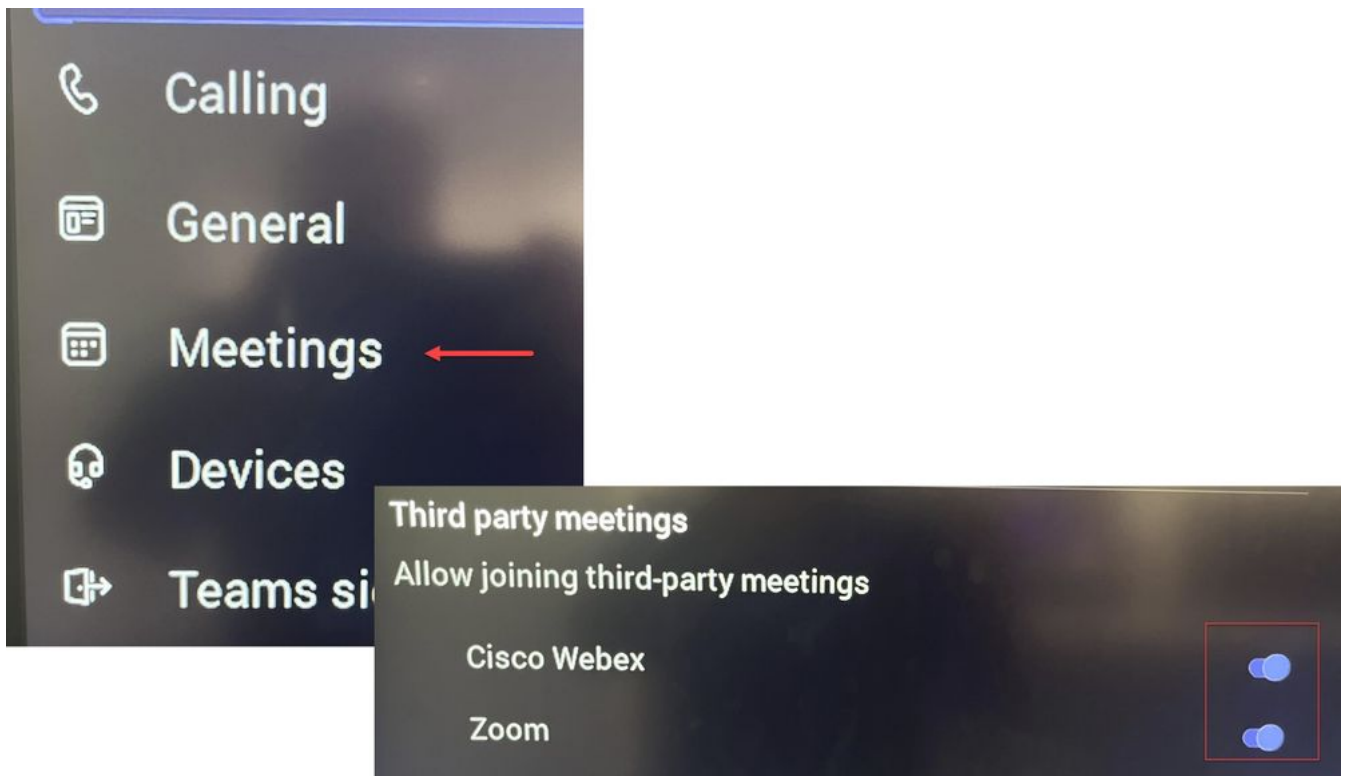
デバイスの設定チームの管理設定

デュアル登録 (Webex Control HubおよびMTR) :



Control Hub Device Settingsメニュー

設定メニューのロックを解除した状態で、会議メニューに移動し、Webexまたはズームを有効にします。



設定メニュー - MTR

リソースメールボックスの設定

Office 365のカレンダー処理属性を変更するには、Exchange管理者がPowerShellを使用して接続し、次のPowerShellコマンドを発行する必要があります。これらの設定の一部は推奨値ですが、サードパーティ会議の処理に関して最も重要な属性は、DeleteComments \$falseとProcessExternalMeetingMessages \$trueです。その他の属性は、組織の設定によって異なります。

PowerShellコマンド：

```
Set-CalendarProcessing -Identity "[ResourceName]" -AutomateProcessing AutoAccept -  
AddOrganizerToSubject $false -DeleteComments $false -DeleteSubject $false -  
ProcessExternalMeetingMessages $true -RemovePrivateProperty $false -AddAdditionalResponse  
$true - AdditionalResponse 「これは、シスココラボレーションデバイスを搭載したMicrosoft  
Teams会議室です。」
```

(「トラブルシューティング」)

会議への招待は表示されますが、参加ボタンはありません

デバイスに招待が表示されるが、参加ボタンが表示されない場合は、Exchangeのメールボックス設定が正しいことを確認します。具体的には、calendarProcessing > DeleteCommentsにチェックマークを付けます。この値はfalseにする必要がありますが、新しいリソースメールボックスを作成する場合はデフォルトでtrueになります。また、Settings > Meetingsメニューのサードパーティ会議サポートのトグルを有効にする必要があります。

会議の招待を表示できません

サードパーティの会議がまったく表示されない場合は、リソースメールボックスが招待を処理していない可能性があります。リソースメールボックスのcalendarProcessing構成を確認します。特に、DeleteCommentsはfalseで、ProcessExternalMeetingMessagesはtrueである必要があります。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。